

令和3年度

久美浜学園保幼小中一貫教育

新たな高みを
飛躍の6年目

高龍小学校



かぶと山小学校



久美浜小学校



久美浜中学校



かぶと山
こども園



こうりゅう虹保育園



久美浜保育所



久美浜学園は、久美浜の
7つの、学校、園、所の総称

久美浜学園保幼小中一貫教育

保育、幼児教育、小中学校の義務教育を一体とし、統一的で一貫性のある指導・カリキュラムのもと、園所、小中学校が目標や指導方法を共有し緊密に連携、協働して進める教育の方法

「目指す子ども像」

久美浜の子どもをどのように育てるか、どんな力を身につけさせるかを決めました。学校、園、所はもとより、家庭や地域でもこうあってほしいという子ども像です。子育てや教育の方向性を示し、義務教育の終了までに実現したい「子ども像」です。

京丹後市の目指す子ども像

○将来に夢と希望をもって生き生きと学ぶことのできる子どもを育成する○

- ・基礎・基本を確実に身につけ、質の高い学力をもった子ども
- ・規範意識をもち、豊かな人間関係を築く子ども
- ・自分自身を高め続けるたくましい心と体に満ちた子ども



久美浜学園の目指す子ども像

- (知) 意欲的に、質の高い学力を身につけようとする子
- (徳) 自ら正しく判断、行動し、豊かな心をもつ子
- (体) 心身を鍛え、粘り強く最後まで、協力して取り組む子

京都府教育振興プラン(目指す人間像)

○めまぐるしく変化していく社会において、変化を前向きにとらえて主体的に行動し、よりよい社会と幸福な人生を創り出せる人

➡久美浜学園保幼小中一貫教育のホームページをぜひご覧ください。

<http://www.Kyoto-be.ne.jp/kumihama-jhs/cms/>



久美浜学園保幼小中一貫教育の6年目になります。この5年間で、久美浜学園の取組の方向性、大切にしたいことが明らかになってきました。次の5年間は、具体的な学力充実の取組、不登校の未然防止を進め誰もが学校で存分に力を発揮できる取組を目指します。そのために、園所、学校の教職員が「対話と理解」によって協働的に教育を推進していきます。

昨年度は、思わぬコロナ禍により、様々な取組が未実施になったり縮小になったりしました。だからこそ、それまでに創り上げた学園の取組(教職員が一堂に集まること、子どもたちが交流することなど)の大切さが身に沁みました。今年度もコロナ禍はおさまらず、計画した取組が状況によっては形を変えることになるかも知れません。しかし、久美浜学園の子どもたちをみんなで育てるという保幼小中一貫教育の方法の正しさに確信を持ち、ICTを活用するなど、できることを考え、消極的な気持ちにならず進めていきたいと思えます。

学園教育目標

ふるさとを愛し、意欲的に学び、
やさしい心もち、根気強く努力する子どもの育成

重点目標

意欲的に生活・学習に取り組む子どもの育成
～子どもの実態や系統性を踏まえた指導～

指導の重点【学力向上】

- 1 基礎・基本の徹底
- 2 主体的に学ぶ力の伸長(授業づくり)
- 3 家庭学習時間の確保

共通指導事項(学力向上)

- 学習課題・家庭学習をしっかりと子どもを育てる。
- 相手の顔を見て話を聞く子どもを育てる。
- 時間・時刻を守る子どもを育てる。

共通指導事項(生徒指導)

- あいさつ・返事をする子どもを育てる。
- 勤労生産・奉仕活動を協力してする子どもを育てる。

取組の柱1

幼児児童生徒の成長発達に、学園の全教職員で責任を持つ。～全教職員がチームとして協働意識を醸成
○「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業を推進
学園テーマとして「主体的に学ぶ力の伸長」を設定し、ICTを活用しながら、幼児児童生徒が自ら考えを深める授業を創る。

「目指す子ども像」から始まる様々な目標と「共通指導事項」が、久美浜学園の教育の方向性です。どんな子どもを育てるのか、何を大事にして日々の具体的な活動をするのかなどの指針になります。これを学園で統一して決めています。



今年度から5年間、教職員一丸となって「学力向上」を目指します。1時間1時間の授業の充実、具体的な学力定着の方策など取り組んでいきます。



「共通指導事項」はこの5年間、すいぶん成果が出てきました。学園で統一して指導することはとても重要です。



「主体的・対話的で深い学び」を目指し、子どもが関わり合って学習を進め、**主体的に学ぶ力**を伸ばします。1人1台のタブレット、遠隔授業など**ICT**を活用します。

ふるさと久美浜を学ぶ**地域学習**を進め、久美浜を愛する心を育てます。

教員が授業を参観し指導の仕方を学び合います。(対話と理解)

取組の柱2

規範意識の醸成を基盤とした落ち着いた学校・園所づくり、授業づくり
 ○生徒指導の三機能(自己決定、自己存在感、共感的人間関係)を活かした「わかる授業」と「学級経営・特別活動」の充実により規範意識を醸成し、学ぶ意欲を育成
 ○学校・学年単位の授業研究推進と「主体的に学びに向かう力」の育成
 ○当たり前のことが当たり前でできる雰囲気づくりで基礎・基本の徹底



聞く、話す、時間を守るなど、**学習規律**や**学習に向かう力**を身に付けさせます。

チーム活動、異年齢活動などを通して、困難なことがあっても力を合わせ協力することを学ばせます。

「**当たり前のことが当たり前**にでき」、「**関わり合っ**て**学ぶ**」授業を進めます。

取組の柱3

子どもの交流行事、教員の指導交流の推進による行動連携
 ○共に学ぶ意識を育て、子ども同士を結び付ける交流行事・授業
 ○豊かな教科指導を目指す教員の指導交流



5歳児交流会でかぶと山登山



3校の同学年で集まる**小小連携学習**



6年生の**部活動体験、合唱祭参観**



保幼小交流



体験授業・体験入学



児童会生徒会の**あいさつ運動**



小学校での**専科授業**



中学生の**職場体験**や**ウインターコンサート**で**園児との交流**

昨年度は中止や縮小された事業も多くありました。今年度も、そうなることが予想されますが、できるように工夫しながら実施することを目指します。子どもたちの交流は、久美浜学園の子どもとして一緒に頑張るという意識を育てたり、進学への不安を解消したりする大切な取組です。リモートでつながる取組も計画します。

取組の柱4

子どもの交流行事、教員の指導交流の推進による行動連携

○共に学ぶ意識を育て、子ども同士を結び付ける交流行事・授業

○豊かな教科指導を目指す教員の指導交流



久美浜学園PTA・保護者会

会長会議、家庭教育委員会に、園所の保護者会からも参加し、学園として統一してできる取組を考えていきます。

○一斉あいさつ運動(5/11、10/5、1/13)

○家庭学習がんばり週間(学園の取組と連動し家庭教育委員会で)

○規範意識を醸成するためのSNSに関する教育講演会の実施



久美浜学園学校運営協議会

子どもたちを心豊かに育て、「久美浜を支える人」を育てる教育環境づくりを進めるため、地域、家庭、学校が、目標や課題を共有し、連携・協力していきます。子どもに係る様々な活動をされている団体、機関の代表者の方に、年間3回の会議(5/13-延期、10/28、2/24)に出席していただきます。学園の基本方針の承認、学園の取組や活動評価の報告、学園の教育について意見聴取、学園の取組参観などを進めます。



保幼小中一貫教育5年の成果と、次の5年の方向性

- 1 校種間交流が進み、小1プロブレム、中1ギャップの緩和につながった。
- 2 子どもの交流が進み、子どもの意識の中に学園意識が進みつつある。
- 3 年3回の「家庭学習がんばり週間」の取組により、家庭学習時間の確保へつながりつつある。
- 4 学園組織が機能し、教職員の「対話と理解」による指導の一貫性が徐々に図れるようになってきた。
- 5 規範意識の醸成を基盤とした落ち着いた学校・園所づくり、授業づくりが進んだ。
- 6 学校運営協議会(学校地域連携推進協議会)、学園PTA・保護者会等、地域との連携が進んだ。

昨年度5年間の成果を整理しました。



5年間、少しずつ改善しながら、久美浜学園としての取組を進め、交流事業等、定まってきたところのコロナ対応での事業中止や縮小の昨年だった。改めて、進めてきたことの大切さが確信となった。

事業の再構築、学力充実、不登校の解消、教職員の協働を重点にした取組を進める。特に、学力充実に最重点とし、ICT活用と中学校出口でしっかり学びに向かえる子どもづくりをめざす。

今後の5年間の方向



- 1 **コロナ禍の中、できなかった取組の再構築**
子どもの交流事業と教職員の連携事業
校種間連携の更なる推進(教育課程上の課題を見据えて)
- 2 **「主体的に学ぶ子ども」の育成を図る。(学力向上)**
学びに向かう子ども、学びに向かう学校づくり
GIGAスクール構想によるICTを活用した授業づくり
- 3 **原則的できめ細かな対応による不登校の未然防止と早期解消**
記録表の作成など校種間できめ細かく情報をつなげる取組強化
新たな不登校を出さないという指導と思いを全教職員で
- 4 **学園運営協議会による学校、保護者、地域連携の更なる推進**
学園PTA、保護者会の取組再構築
地域活動の取材、広報の取組と連携推進、学校支援、学習支援の推進